

長岡大学 今瀬政司ゼミナール 活動報告(2014年度)

とちお祭への裏方参画と調査・情報発信

～長岡・栃尾地域を元気にするために～

2014年12月6日

学生による地域活性化プログラム成果発表会

(会場:ホテルニューオータニ長岡)

【今瀬ゼミ】五十嵐信彦、澤井芳秀、須田一聖、
相山祐輝、太刀川健太郎 (五十音順)

【担当教員】長岡大学経済経営学部 准教授 今瀬政司

TEL:0258-39-1907 E-mail:imase@nagaokauniv.ac.jp

活動概要「とちお祭で裏方さんになりました！」

【活動1】長岡市栃尾の「とちお祭」に、「裏方」として参画

※企画から事前準備、直前設営、当日運営、片付けまで

【活動2】さらに、「表方」として、当日イベントにも参加

【活動3】並行して、「裏方」だからこそ分かる「とちお祭」の
本当の姿を実態調査（取材、記録）して取りまとめ

【活動4】「裏方」「表方」活動と調査から分かった「とちお祭」
の魅力を情報発信（誘客PR）し、課題解決策を提言

※報告書発行、パネル展示（長岡大学悠久祭、市内各所
（公共施設やイベント時）、ホームページ、講演報告など

【活動5】「とちお祭」のイベントの出前開催

※「栃尾本町仁和賀隊パフォーマンス」を悠久祭で開催

今瀬ゼミと地域の人々との関わり(協働)

栃尾地域

ご協力機関

栃尾観光協会
 栃尾本町区
 栃尾煙火協会
 栃尾商工会
 NPO法人フォーラム栃尾熱都
 長岡市栃尾地域NPO連絡協議会
 (公財)山の暮らし再生機構
 栃尾サテライト 等

長岡大学
 今瀬ゼミナール

ご協力機関

長岡市役所など

今瀬ゼミ生

学生ボランティア

【アドバイザー】
 荒木 隆氏*、安達一啓氏**
【市栃尾支所】
 商工観光課*、地域振興課
【市本庁】
 市民協働推進室**
 政策企画室、地域振興戦略部
 NPO法人
 市民協働ネットワーク長岡 等



(C) 2014 Imase Masashi Seminar

事前取材とゼミ活動の企画立案(4~6月)

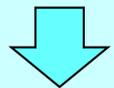
- ご協力機関の方々を訪問して、事前取材・相談をする。
- 何度か様々な方にアドバイスを頂くことで、企画書を何回も変更し、バージョンアップしていった。

① 企画書(第1案): 「長岡駅から 過疎 地域 を繋ぐ」



「栃尾」に焦点を当てる！

② 企画書(中間案): 「長岡駅から 栃尾 地域 を繋ぐ」



「とちお祭」と「裏方」に焦点を当てる！

③ 企画書(最終案):

「とちお祭への裏方参画と調査・情報発信」

長岡市栃尾の「とちお祭」とは

- 「とちお祭」の歴史は古く、1955年まで遡る。
当時は「繊維まつり」と呼ばれた(1981年に現名称に)。
- 祭の多い栃尾地域でも、特に大きな祭であり、
今年(2014年8月23・24日)で、60周年を迎えた。
- 今年の「とちお祭」のイベント内容
 - ①全日本樽みこし綱引き選手権大会
 - ②仁和賀(にわか)行進 ③大花火大会
 - ④大民踊流し ⑤みこし渡御
 - ⑥ミュージックアトラクション、味のテント村等
- 詳細は、とちお祭事務局(栃尾観光協会)まで
TEL:0258-51-1195 <http://tochiokankou.jp>

今瀬ゼミお薦めの「とちお祭」3大イベント

①「全日本樽みこし綱引き選手権大会」

全国でも珍しい、酒のたるを積んだみこしを使った綱引き大会です。 迫力満点！

②「仁和賀(にわか)行進」 必見！驚き！大笑い！

各地区・団体が時代や地域柄を反映した独自の出し物を行いながら街なかを練り歩く。

③「大花火大会」 山の上で美しく花開く花火！

打上場所は、全国でも珍しく、山の頂上。打上げ設営、点火合図、燃え殻回収などは（花火師のみが行う筒設置や玉点火等以外）、住民（栃尾煙火協会）が手作りで実施。



ビデオ動画へ

(C) 2014 Imase Masashi Seminar

今瀬ゼミお薦めの「とちお祭」3大イベント

ビデオ動画



【裏方①】とちお祭の「結団式」、「仁和賀部会」、「樽みこし部会」への参加と取材(6~8月)

とちお祭の結団式



樽みこし部会を記録



仁和賀部会



とちお祭の「結団式」(7/4)では、参加人数の多さに驚いた。

「仁和賀部会」では、「参加団体数が昔に比べて大幅に減少」、「来年もやれるのか」、「来年は新たな取組みをすべきだ」などの意見が出た。栃尾地域の過疎化の現実を知った。

【裏方②】祭の準備と片付と取材(事前・当日前後)

祭の提灯づけ



祭ののぼりたて



祭3週間程前、会場周辺でPR用の提灯やのぼりなどを設置した。予算や人数がもっと多ければ、設置場所を広げられるのと思った。

祭前日は、会場の掃除、雨よけシートがけ、テント等運搬などを行った。会場の設営は、わりとスムーズにできた。毎年、積み重ねてきたノウハウが活きているようだ。

祭の会場の設営



備品倉庫は、まさに「裏方さん」しか入ることがない場所だ。

祭翌日の片付けでは、テントやその他重いものを運んだり、雨で濡れた提灯などを乾かしたりした。



祭の備品倉庫

【裏方③】栃尾本町区の「仁和賀行進」の準備会・練習会への参加と取材(7~8月)

仁和賀行進の踊りの道具づくり



諏訪神社で準備会に参加



町内のスタジオで仁和賀行進の練習

栃尾本町区では、「仁和賀行進」の準備会・練習会が頻繁に行われていた。お手伝いの初日から地元の人には優しく対応して下さった。地区で集まって何かやるというのはすごく、同じ地区の人との付き合いが深くなると思った。

トラックの装飾作業



地区の人たちは、今瀬ゼミ生たちと同年代の人は少ないが、30代位の若い人は多くいるように感じた。

仁和賀行進では、栃尾本町区が最も活気があると聞いていたが、他の地区はどうなのであろうかと気になった。

【裏方④】とちお祭の安全祈願祭への参加と取材、 事前PRのチラシ配り・パネル展示(8月中旬)

とちお祭の安全祈願祭



8/19、長岡市庁舎の「アオーレ」で、とちお祭の事前PRとして、チラシ配布や紹介パネル等の展示作業などを行った。

当日、アオーレでは栃尾の子供たちが演技を発表していた。観客はその子供の親御さんたちが殆どのように、私たちがチラシを渡した人は、とちお祭について既に知っているようであった。

今後は、とちお祭を知らない人たちにも配った方が良かったと思った。

8/18、「産業交流センターおきなす」で安全祈願祭が行われた。宮司さんが来られ、厳格な雰囲気の中で執り行われた。

祭の前に安全祈願祭などが行われるのは、歴史が深い祭だからこそと思った。

祭のポスター展示



祭のチラシ配り



【裏方⑤】祭の当日の運営と取材(8/23、24)

会場をレーキがけ



直前に雨が降ったが、雨対策のおかげで、予定通り開催できた。会場を覆っておいたブルーシートをたたみ、濡れた地面をスポンジで吸い取り、レーキがけをした。雨よけ場所から、会場にテントを広げ、テーブルや椅子を設置した。

祭当日の打合せ



子供達が踊る様子を記録



昔の祭の写真で見せて頂いたほどの参加人数には及ばないが、親子連れなど多くの人たちが会場に来ていた。

「みこし渡御」は、「ほだれ様」のみこしが特徴的だ。(道祖神の一つである男根形のほだれ様(穂垂れ)は、農耕と人の実りを守る神様) 広く栃尾内外から参加者があった。

祭の出店で販売員



大民謡流しで交通整理



大民謡流しは、30以上の団体が参加し、盛り上がりを見せた。



みこし渡御で参加者の受付

【裏方⑥】大花火大会の準備・打上・片付と取材

花火打上げの準備、点火の合図、燃え殻の回収など(花火師さんの作業以外)、貴重な作業経験と記録づくりをさせて頂いた。



防火水槽の設置



看板の設置



ヘルメット装着



花火点火



花火2日前、打上げ合図を出すテントや看板の設置。約600リットルの水を山の上へ上げて防火水槽に入れ、落ち葉の清掃などを行った。火災など安全対策に力を入れていることを実感した。リーダーの高見さんのもと、作業を確実にこなす手際の良さが印象に残った。ただ、後継者への引継ぎが課題だと伺った。

当日、花火の筒から10m程の距離から見る打上げの音と美しさは圧巻だった。

翌日、打上げ場所周辺でたくさんの花火の燃え殻など、ごみを拾って集めた。防火水槽、テント、発電機などを片付けた。栃尾煙火協会の人數でやるには重労働だと思った。



花火の燃え殻回収



【表方】祭の当日イベントへの参加と取材(8/24)

樽みこしに参戦！準優勝



今瀬ゼミは、裏方としての作業とともに、「全日本樽みこし綱引き選手権大会」の初心者向けのチャレンジシップに参戦した。惜しくも準優勝！チャレンジシップでは、地元の参加団体の少なさを実感した。

樽みこし綱引きは、非常に激しい競技と聞いて、敷居の高さを感じていたが、実際に参加してみると、怖さよりも興奮が上回るイベントで、地元のもっと多くの若い世代にも、面白みを知ってもらおうべきだと感じた。

栃尾本町の仁和賀行進に参加！乱舞



今瀬ゼミは、裏方作業とともに、「仁和賀行進」にも参加し、栃尾本町区の方々と一緒にパフォーマンス(ダンス・仮装等)をさせて頂いた。楽しかった！

参加団体数が少なかったが、どこの団体も活気があり、雨の中でも見物客が多くすごいと思った。

今瀬ゼミからの「とちお祭」への3つの提言

【提言1】

「とちお祭」で準備・運営・片付けなどを行う「裏方さん」の大変さ、大事さ、面白さが地元で再評価されるような仕掛けをして、「裏方さん」(特に若い人)が増えるようにしていくこと。

【提言2】

とちお祭の「全日本樽みこし綱引き選手権大会」を栃尾以外の地域の祭において出前開催すること。それにより、樽みこし綱引きの魅力を栃尾内外に波及的に広く知ってもらうこと。

【提言3】

とちお祭の会場で、地元商店や料理上手な家庭の方などの力を借り、地元の名物料理や家庭料理などの屋台を多く出すようにして、域外からの来場者の楽しみを増やすこと。

「とちお祭」のイベントの出前開催（PR活動）

「とちお祭」が長岡大学悠久祭にやって来た！（10月25日）

今瀬ゼミと栃尾本町(約25人)との合同「仁和賀隊パフォーマンス」



仁和賀行進の出前開催では、とちお祭の本番に比べて踊りの人数は少なかったが、本番に負けないイベントになったのではないかな。



(C) 2014 Imase Masashi Seminar

[ビデオ動画へ](#)

「とちお祭」のイベントの出前開催（PR活動）

「とちお祭」が長岡大学悠久祭にやって来た！（10月25日）
今瀬ゼミと栃尾本町(約25人)との合同「仁和賀隊パフォーマンス」

ビデオ動画



最後に ～お礼とお祝い～

栃尾の皆様、関係機関の皆様、今瀬ゼミの活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。

「第60回とちお祭」が盛大に開催され、改めてお祝い申し上げます。

「とちお祭」と栃尾地域の一層の発展を祈念するとともに、今後とも、栃尾地域の活性化に貢献していきます。（今瀬ゼミ一同）

山上の花火打上げ会場から見る
栃尾の町並み



今瀬ゼミ

今瀬政司研究室ホームページにて、「とちお祭」関連情報を発信中！

<http://sicnpo.jp/imase-nagaokauniv/>

（ゼミ活動の報告書、展示パネル、講演資料など掲載しています。）